

# ぬり絵を切り絵で表そう！

古くから親しまれている切り絵は、黒と白のコントラストを楽しむ、アートのひとつです。

出来上がった作品を台紙に貼ってインテリアにする。台紙に貼った小さなものは、モバイルにして楽しむ。筒状にしてランプシェードにする。このように、完成した作品の楽しみ方も様々です。

そして何よりも、家にあるもので気軽にできるのは嬉しいことです。

今回は 100 均のお店でも簡単に手に入るぬり絵を切り絵で表します。

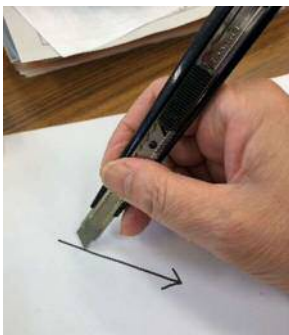
ぬり絵は簡単な絵柄から細かい絵柄までありますので、慣れてきたら細かいデザインに挑戦してみましょう。

## <準備しよう>

- ・ぬり絵
- ・黒の紙（色画用紙など）
- ・カッターナイフ
- ・カッターマット
- ・マーカーペン（太いものと細いもの）
- ・ホチキス
- ・修正ペン（修正したいときがあると便利です）
- ・貼ってはがせるのりやスプレーのり  
（なくてもできますが、細かいところに塗っておくと便利です）



## <カッティングの前に>



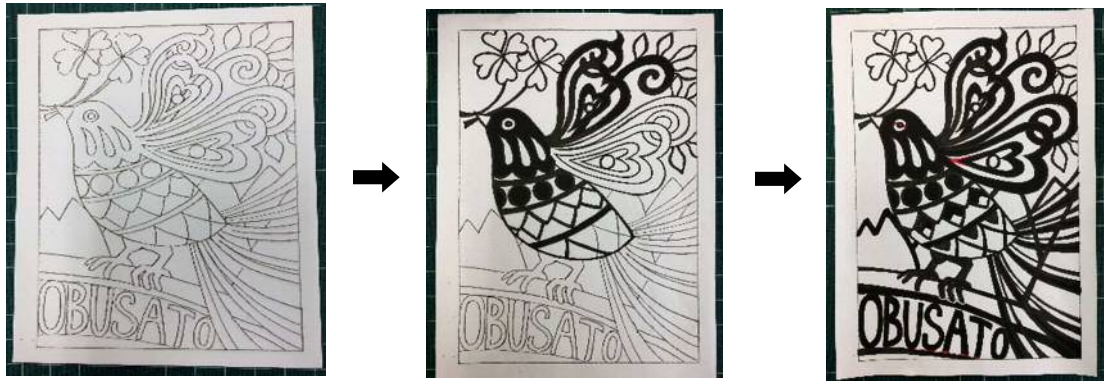
刃は一枚だけ出し、できるだけ垂直にして、手前に引きながらカットします。

ナイフの刃は切れなくなる前にカットしましょう。



## <ぬり絵を白と黒に塗り分けましょう>

ぬり絵はもともと、白と黒で表現されていますが、線が細かいものが多いので、最初にペンの線をなぞり、切り残せるくらいの太さにします。その後、黒く残したいところを塗る斜線でわかるようにします。



## <黒いところをつなげよう>

※黒い部分がすべてつながるようにすることがポイントです！

鳥の目の部分です。左側をそのまま切ると、中央の目の玉がなくなってしまうため、右の赤線のように黒の部分をつなげます。

こちらは羽の部分です。左側の状態で白い部分をカットしていくとハートの部分が切り取られてしまうため、右の赤く示したように下の黒い部分をつなげます。



## <下絵（ぬり絵）と黒の紙を合わせて止めましょう>



左の写真のように、カットされる白い部分にホチキス止めをします。図柄が動かないように数か所とめておくと安心です。とても細かいデザインには貼ってはがせるスプレーのりやスティックのりで止める方法もあります。

裏から見た写真です。



## <カッティングをしましょう>

さあいよいよカッティングを始めます。

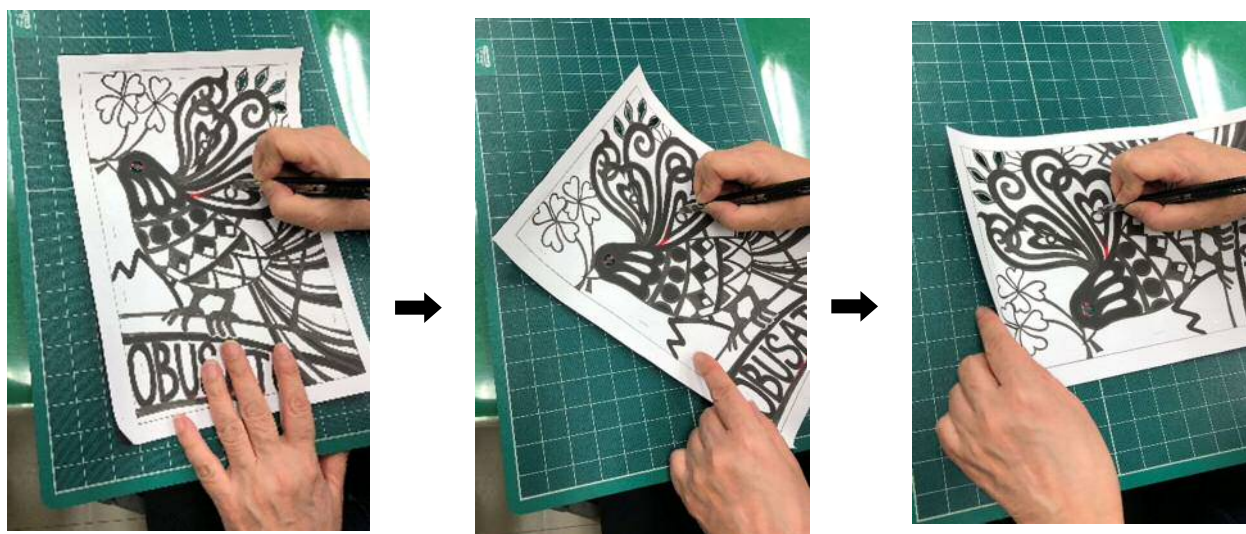
<カッティングの前に>に記したようによく切れるナイフを使用し、ナイフは手前に引いてカッティングします。

まず、細かいところからカッティングします。このデザインでは鳥の目や四葉のクローバーなど細い線のところからカッティングしました。

ホチキスで止めたところをなるべく最後に切ると作業がしやすいです。

下の作品はカッターナイフの使い方です。カッターナイフはなるべく大きく動かさずに、紙を回しながらカッティングするのがポイントです。

また、完全に切れていないところを手でちぎってしまうと破れてしまい、きれいに仕上がりません。面倒でも、必ずカッターナイフで切るようにしましょう。



切り終わったら完成です。

白と黒のコントラストは切り絵の独特な美しさです。

また、できあがった切り絵の上から色紙いろがみをあてて、色を付けたいところをなぞりカッティングします。(透けない場合は、トレーシングペーパーを使って写し取るときれいにできます。)

下に敷く紙の色を変えると楽しさが広がります。

では完成作品をご覧ください。





